

Ver.1

ITmedia

DX Summit

Vol.13

変わるデータ経営、変わるデータ基盤

Produce by  **ITmedia**
イグゼクティブ  **ITmedia**
イマ-プライズ

ITmedia DX Summit

開催概要

会期名称

ITmedia DX Summit Vol.13

主催



開催日時

2022年8月29日(月)～9月1日(木)予定

イベント形式

集合型オンラインセミナー

視聴方法

無料登録制

事前申込者数

約600名想定

想定視聴者属性

経営者、経営企画の方、社内情報システムの運用・方針策定をする立場の方、企業情報システム部門の企画担当者、運用管理者、SIer など

告知/集客

ITmedia エンタープライズ、ITmedia エグゼクティブを中心とした当社媒体

運営

アイティメディア株式会社 セミナー運営事務局

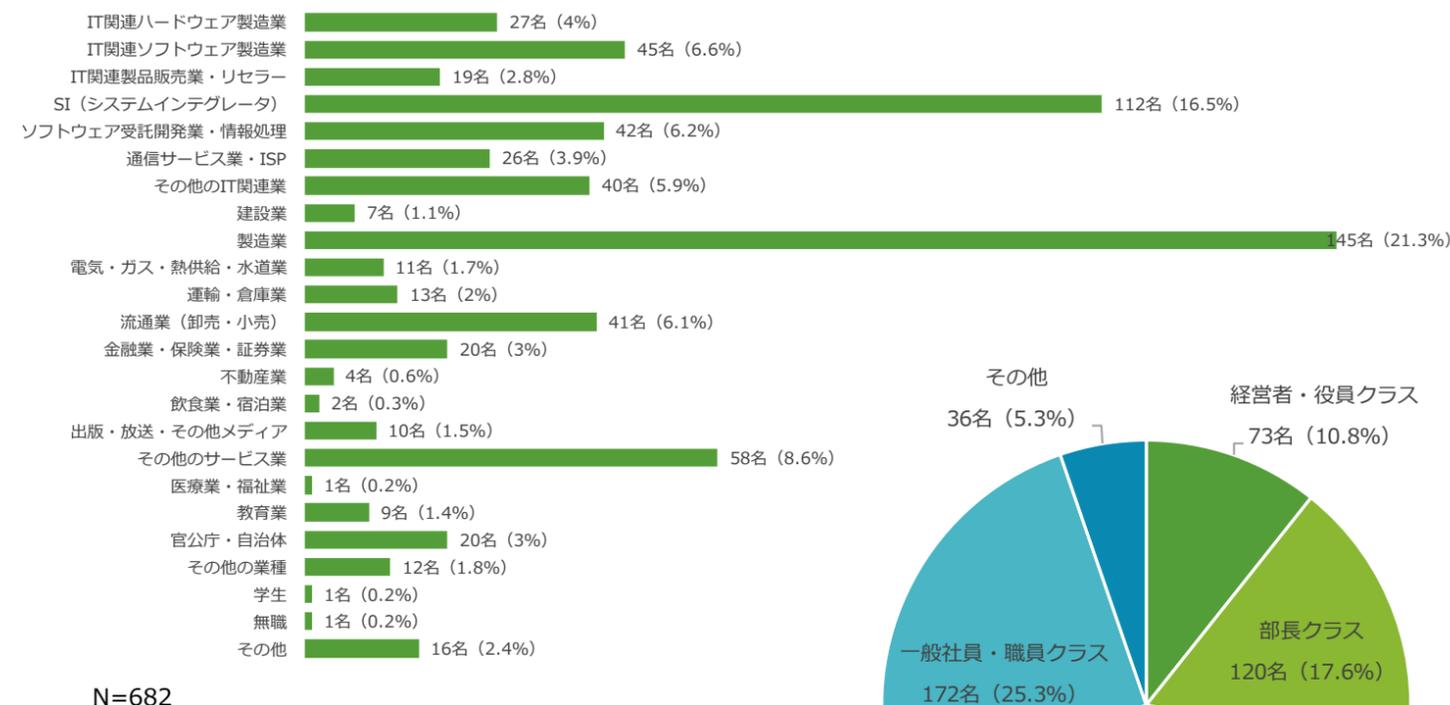
過去開催実績

ITmedia DX Summit Vol.11

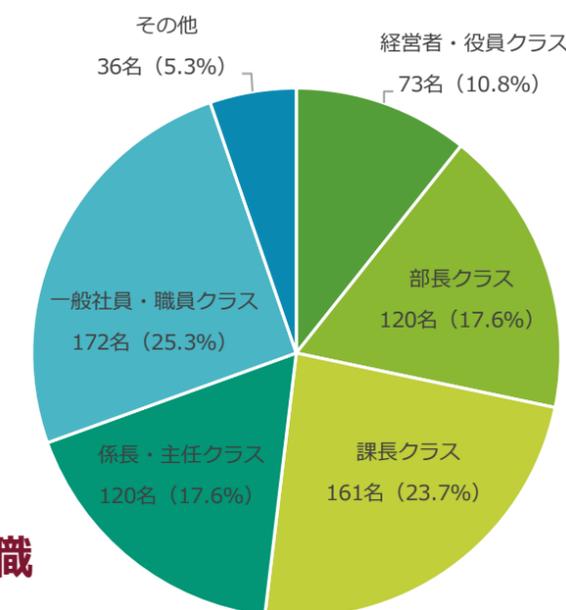
『ビジネス価値を創出するDX データ活用で躍進する企業変革と成長戦略』

開催期間：2022年3月15日(火)～17日(木)

● 申込者業種



● 申込者役職



本内容は予告なく変更または実施を中止する場合がございます。あらかじめご了承ください。ご不明点等は営業担当までお問い合わせください。

ITmedia DX Summit

Vol.13

変わるデータ経営、変わるデータ基盤

Day1

デジタル×データでビジネスを再定義

日本の素材産業は残された最後の砦ですが、脱炭素や原材料の高騰に大きく揺さぶられ、官民挙げた取り組みが始まっています。化学メーカーの日本ゼオンではデータによる経営の高度化とビジネスそのものの変革を両輪として自律的なDXを推進しています。

Day2

不確実な時代を可視化して 未来を予測する技術 統合された意思決定の可能性を探る

不確実性が増す中で確実さを求めるには実績をリアルタイムに可視化して全体を把握しながら同時に未来を精密に予測する必要があります。
Day2は過去のデータと将来予測を有機的につなぐ方法を考えていきます。

Day3

「あるべきデータ基盤」を描く ハイブリッド／マルチクラウド時代の 理想のデータ基盤を探る

さまざまなITインフラの選択肢がある中でデータ基盤に何を選ぶかは、企業の今後の方向性を決定付ける可能性のある重要な選択になる。将来の自社のあるべき姿から逆算して今選ぶべきデータ基盤の方向性を考えます。

Day1

デジタル×データでビジネスを再定義

かつて世界を席卷した日本の製造業も急速に国際競争力を失い、半導体や電機は他国の台頭を許しましたが、鉄鋼や非鉄金属、化学など基礎素材産業の競争力は依然として高く維持されています。世界から必要とされている素材産業は残された砦でもあります。しかし、ここへきてその虎の子の素材産業もカーボンニュートラル、原材料の高騰、そしてデジタル変革の大きな波に揺さぶられています。こうした激変の中にあっても、競争力を維持し、その将来像を描けるようにするため、官民挙げた取り組みが始まっています。合成ゴムや高性能樹脂を柱とする化学メーカーである日本ゼオンは、事業戦略、製品戦略に沿ったデジタル施策を展開するとともに、経営判断に必要な正確な情報をより速く提供、併せて生産革新も加速させ、自律的なデジタル変革を推進しています。

— Key word —

データドリブン経営、DX推進組織構築、内製化、BPR、データアナリティクス／BI

Day2

不確実な時代を可視化して未来を予測する技術 統合された意思決定の可能性を探る

世界中がつながる環境では一つの事象がかつてないほど大きなうねりとなって市場を掻き乱すことがあります。不確実性が増す中で確実さを求めるには、「部分」だけでなく「全体」をリアルタイムに掌握することが重要です。同時に掌握した全体像を基に個別詳細な未来予測を導き出す能力も必要です。Day2は個々のデータと全体、過去のデータと将来予測を有機的につなぐ方法を考えていきます。

— Key word —

BI、BAなどのデータ可視化ソリューション全般（特にビジネスパフォーマンスに関わるデータの可視化）、実績データを基にしたプランニングソリューション

— 視聴者の抱える課題意識 —

脱サイロ化したデータの可視化、実績データを基にした計画系業務の高度化、事業部門単位ではなく部門を超えたプロジェクトレベルでの収支把握や将来計画の掌握を目指す組織

Day3

「あるべきデータ基盤」を描く ハイブリッド／マルチクラウド時代の理想のデータ基盤を探る

さまざまなITインフラの選択肢がある中でデータ基盤に何を選ぶかは、企業の今後の方向性を決定付ける可能性のある重要な選択になる。将来の自社のあるべき姿から逆算して今選ぶべきデータ基盤の方向性を考える。

— Key word —

クラウドデータウェアハウス、データクラウド、ビッグデータプラットフォーム、業界別AIプラットフォーム等、ML, AI基盤、これらのマネージドサービス、導入支援SIサービス

— 視聴者の抱える課題意識 —

サイロ化したデータが散在する、古いDWH、AIモデル管理体制の整備、データガバナンス／マネジメント、データポータビリティ等

Producer's Comment

データの重要性が語られるものの、
どれだけの企業が現時点でデータをファクトとして把握し、正しくインサイトを得られているでしょうか。
また、それらのデータを正しく保護できているでしょうか。

把握すべきデータは時々刻々と変化しています。
バリューチェーン全体の価値を高めるには取引先から顧客の手を離れた先までのデータ把握が重要です。

経営においては財務情報に加えて人材計画や脱炭素への貢献、調達の公平性も把握すべきデータでしょう。
これからも企業が掌握すべきデータは変化していくと考えられます。
だからこそ、それらのデータを支える基盤技術はよりモダンで高効率なものでなくてはなりません。

セミナーは3日間にわたり、データによるビジネスの変革、データを読む技術、
変化に対応するモダンなデータ基盤について考えていきます。

CONTENT

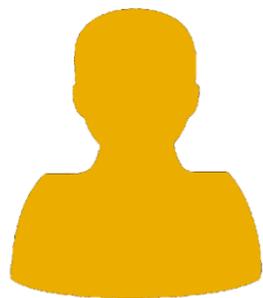
ITmedia DX Summit

ITmedia DX Summit

アサイン講師イメージ

Day1

デジタル×データで
ビジネスを再定義



日本ゼオン株式会社
デジタル統括推進部門長
兼デジタルシステム管理部長
(情報システム兼業務改革推進部長)
協坂 康尋 氏



国立大学法人 一橋大学大学院
経営管理研究科 国際企業戦略専攻
教授
大園 恵美 氏

Day2

不確実な時代を可視化して未来を
予測する技術
統合された意思決定の可能性を探る



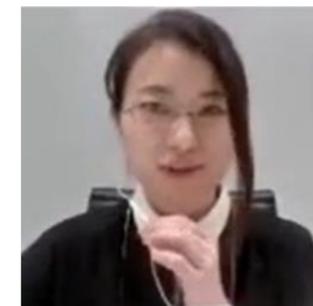
日本Tableau ユーザー会会長
データビズラボ 代表取締役 CEO/CVO
永田 ゆかり 氏



SBIホールディングス株式会社
社長室 ビッグデータ担当
次長
佐藤 市雄 氏

Day3

「あるべきデータ基盤」を描く
ハイブリッド／マルチクラウド時代の
理想のデータ基盤を探る



(独)情報処理推進機構(IPA)
主任
安田 央奈 氏



中外製薬株式会社
上席執行役員
デジタルトランスフォーメーションユニット長
志済 聡子 氏

※ご登壇をお約束するものではありません。また、講演内容は一案です。

ITmedia DX Summit

Timetable

	Day1 デジタル×データで ビジネスを再定義	Day2 不確実な時代を可視化して 未来を予測する技術 統合された意思決定の可能性を探る	Day3 「あるべきデータ基盤」を描く ハ イブリッド/マルチクラウド時代 の理想のデータ基盤を探る	専用ゾーン
13:00~13:40	基調講演 1-1	基調講演 2-1	基調講演 3-1	ゲストセッション 4-1
13:50~14:20	スポンサーセッション 1-1	スポンサーセッション 2-1	スポンサーセッション 3-1	スポンサーセッション 4-1
14:30~15:00	スポンサーセッション 1-2	スポンサーセッション 2-1	スポンサーセッション 3-2	スポンサーセッション 4-2
15:10~15:50	基調講演 1-2	基調講演 2-2	基調講演 3-2	ゲストセッション 4-2
16:00~16:30	スポンサーセッション 1-3	スポンサーセッション 2-3	スポンサーセッション 3-3	スポンサーセッション 4-3
16:40~17:10	スポンサーセッション 1-4	スポンサーセッション 2-4	スポンサーセッション 3-4	スポンサーセッション 4-4
17:20~17:50	スポンサーセッション 1-5	スポンサーセッション 2-5	スポンサーセッション 3-5	▼各セッション枠時間 ・基調講演 : 40分 ・スポンサーセッション : 30分

専用ゾーン1

専用ゾーン2

※上記タイムテーブルは変更となる可能性があります。

SPONSORED MENU

ITmedia ***DX Summit***

ご協賛プランは以下の5種類をご用意

2社限定の
特別プラン!

ダイヤモンド

編集部が企画するゲストセッション1枠と、
貴社セッション2枠から構成される貴社専用ゾーンを設置するプランです。
編集部が貴社の訴求したいメッセージをお伺いし、
ゾーン全体の概要やゲストセッション候補者のご提案・講演概要の企画をすることで、
貴社テーマに関心の高い視聴者へ訴求することが可能です。

プラチナ

スポンサーセッション1枠と、イベント全申込者リストをご提供するプランです。
貴社セッションを視聴した関心の高い読者から、
イベント全体の申込者まで幅広いリストを獲得可能です。

ゴールド

スポンサーセッション1枠と、協賛セクション事前申込者リストをご提供するプランです。
協賛セクションのテーマに興味がある参加者へアプローチすることが可能です。

全リスト

イベント全体の事前申込者リストをご提供するプランです。
スポンサーセッションの準備が難しい場合でも、多くのリストを獲得することが可能です。

セクションリスト

セクション単位での事前申込者リストをご提供するプランです。
協賛セクションのテーマに興味がある視聴者のリストを獲得することが可能です。

スポンサーセッション

30分のセッション枠をご活用いただけます。
ITmediaのカメラやマイクなどの機材を使用して手軽にセッションを行っていただけます。
ご来社が難しい場合は動画データをご納品いただき、当日配信することも可能です。

ITmediaで撮影したライブ配信の動画を
データ納品する追加オプションあります！(税別5万円)



ダイヤモンド

プラチナ

ゴールド

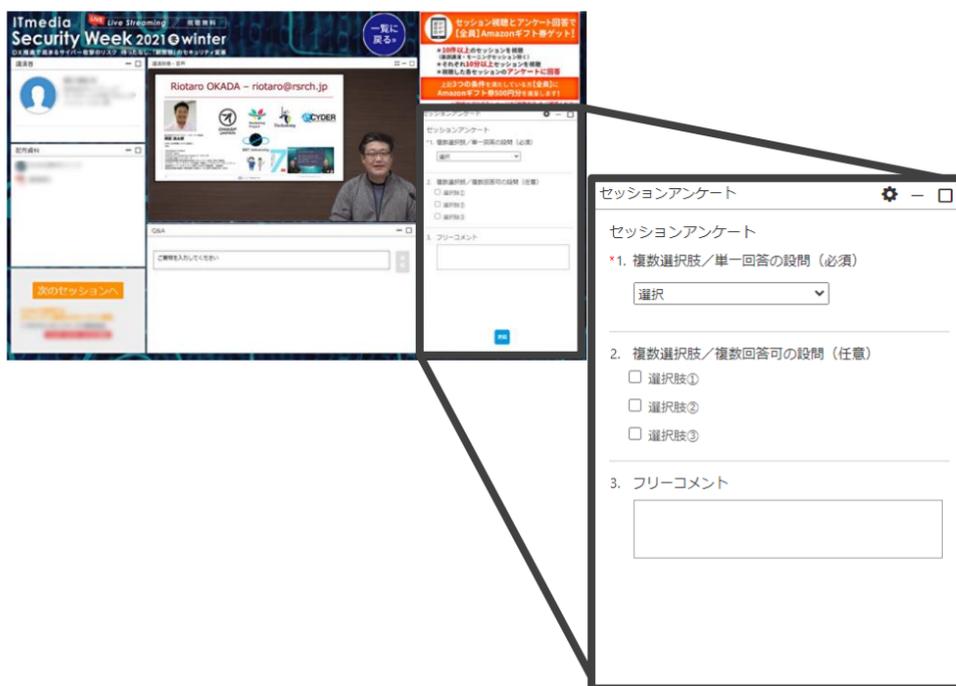
ゲスト+2セッション

全リスト

セクション

セッションアンケート

貴社のセッション枠の時間内に独自のアンケートを実施いただくことが可能です。
回答形式は単一回答、複数回答、自由回答の3種類を組み合わせる自由で設定いただけます。



ダイヤモンド

プラチナ

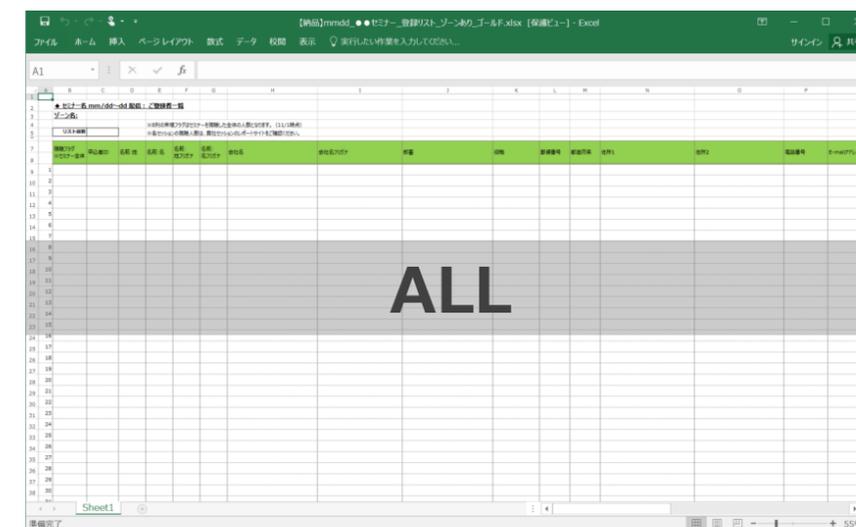
ゴールド

全リスト

セクション

全申込者リスト

全申込者の「会社名」「部署名」「役職」「電話番号」「メールアドレス」など、名刺情報をリストにてご提供します。
申込者リストはイベント終了後3~5営業日以内にReport Centerシステム経由でExcelデータ形式にて納品させていただきます。



ダイヤモンド

プラチナ

ゴールド

全リスト

セクション

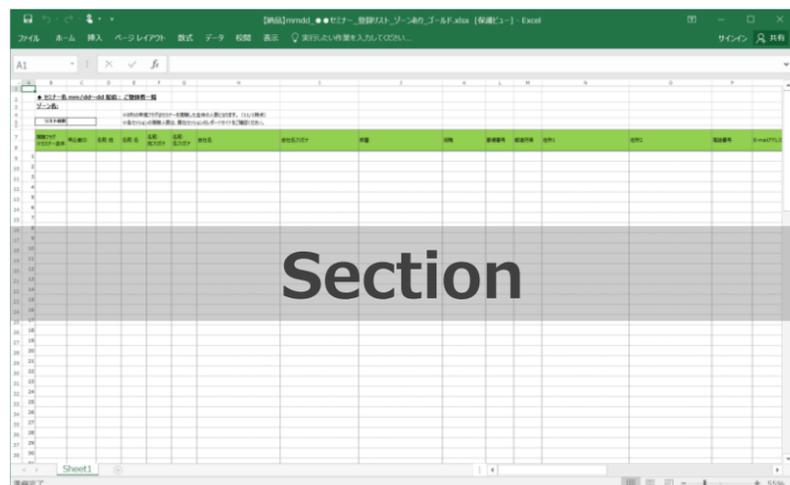
※画像はすべて参考イメージになります。

協賛セクション申込者リスト

協賛セクションの申込者の「会社名」「部署名」「役職」「電話番号」「メールアドレス」など、名刺情報をリストにてご提供します。

ダイヤモンドプランには納品リストを全申込者リストに変更する追加オプションもご用意しております！

※事前申込時に該当セクションを視聴希望としてチェックしている人(任意/申込時1カ所以上の視聴希望必須)のリストがご納品対象です。



ダイヤモンド

約250名想定

プラチナ

ゴールド

約300名想定

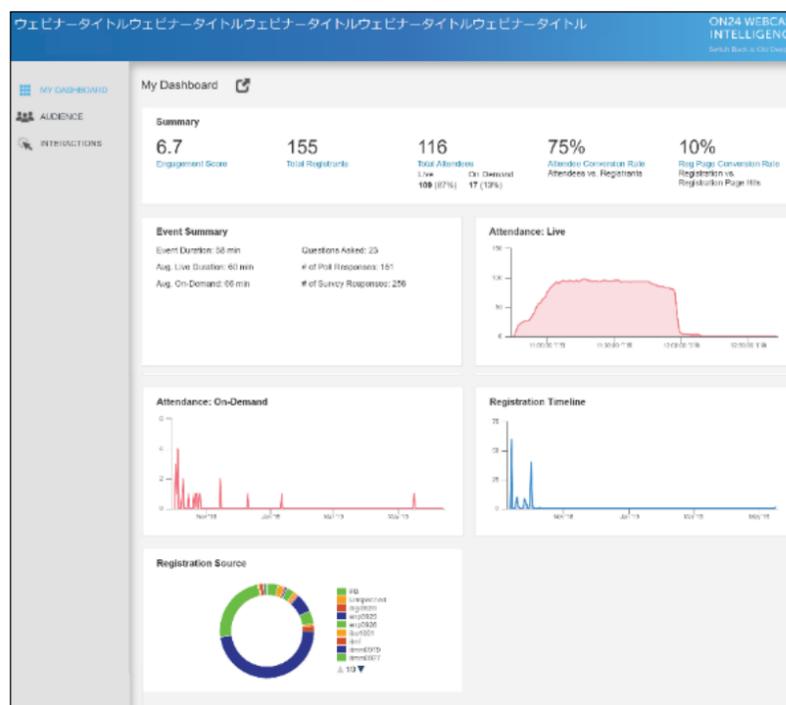
全リスト

セクション

約300名想定

自セッションの 視聴者データ・レポートサイト

貴社セッションのレポートサイトをご提供します。セッション視聴者の「会社名」「部署名」「役職」「電話番号」「メールアドレス」など、名刺情報もDL可能です。



ダイヤモンド

プラチナ

ゴールド

全リスト

セクション

事前アンケート結果

事前登録時に製品選定における立場や抱えている課題等を尋ねており、これらの回答内容をお渡しする申込者リスト内に反映してご提供します。見込み客の選別やアポイントを取るときの事前情報としてお役立てください。(設問はITmedia設定)

ダイヤモンド

プラチナ

ゴールド

全リスト

セクション

※画像はすべて参考イメージになります。

スポンサーロゴ掲載



イベントの集客サイトに貴社のロゴを掲示し、貴社サイトへのリンクを設定いたします。

ダイヤモンド

プラチナ

ゴールド

全リスト

セクション

配布資料

貴社セッション内で視聴者に向けて、ご講演資料+3点まで資料の配布が可能です。PDFデータを送付いただきダウンロードリンクとするほか、貴社の指定外部リンクを設定することも可能です。



ダイヤモンド

プラチナ

ゴールド

全リスト

セクション

開催報告書

ITmediaで一般来場者へ全体アンケートを行っており、その集計結果を開催報告書として会期終了後にご提供いたします。開催報告書内は個人情報を含まない、集計データでのご提供となります。



ダイヤモンド

プラチナ

ゴールド

全リスト

セクション

※画像はすべて参考イメージになります。

協賛プラン

	ダイヤモンド (限定2社)	プラチナ	ゴールド	全リスト	セクションリスト
スポンサーセッション	● (ゲスト+2セッション) Live配信+アーカイブ	● Live配信+アーカイブ	● Live配信+アーカイブ	—	—
セッションアンケート	●	●	●	—	—
全申込者リスト ※想定600名	—	●	—	●	—
協賛セクション申込者リスト	想定250名 ※追加オプション有	—	想定300名	—	想定300名
自セッションの 視聴者データ・レポートサイト	●	●	●	—	—
事前アンケート結果	●	●	●	●	●
スポンサーロゴ掲載	●	●	●	●	●
資料配布	●	●	●	—	—
開催報告書	●	●	●	●	●
	¥4,500,000-	¥2,800,000-	¥2,000,000-	¥1,400,000-	¥900,000-

※ご協賛申込が申込締切日以降となった場合、各プランとも想定の
来場申込者データ数に達しない可能性があります。
※セッションスポンサーが4社未満の場合、実施は見合わせとなります。
※スポンサー数に応じて、プログラムは適宜変更いたします。

(すべて税別・グロス価格)

ダイヤモンド・プラチナ・ゴールドプランスポンサー限定！

セットメニュー タイアップ記事への行動履歴ターゲティング誘導

読者の行動データ（記事閲覧履歴）を基に「興味・関心」を特定し、「興味・関心」の高い人を貴社タイアップ記事へ誘導します。
読者の行動データを外部サービスへ連携し拡張配信を行うことで、アイティメディアに訪れたことが無くても、同じ「興味・関心を持つ人」を捕捉することで読者のリーチが広がります。

タイアップ記事を制作



興味関心がある人だけを抽出



ご提供価格

¥1,500,000-

協賛社様限定！
定価
~~¥1,700,000-~~

保証PV

5,000PV

掲載期間

最短1週間～最長2ヶ月
(保証PVを達成次第終了)

仕様

3,000～4,000文字、図版2～3点

実施内容

- ・タイアップ記事 1本制作
- ※本メニューは、ライブ/オンデマンド配信、録画データ等を視聴しながら要点をまとめるものです。別途取材は行いません。
- ・読者行動データを基にタイアップ記事への誘導広告
- ・閲覧レポート（PV,UB,閲覧企業等）

対象媒体

ITmedia エンタープライズ、ITmedia エグゼクティブ

※制作した記事広告の著作権は、当社および制作スタッフ（ライター、カメラマンなど）に帰属します。
※著名人のアサインや、遠方への取材などが必要な場合は、別途料金を頂戴いたします。
※印刷物でのご利用は二次利用費が発生いたしますので、利用をご希望される場合は担当営業までお問合わせ下さい。
※お申し込み後、広告主様の都合で合意いただいた内容から大きく変更を行う場合、追加費用が発生する場合がございます。

・本サービスは、オーディエンスの拡張配信及び、外部メディアを利用したプランとなります。
・外部メディアの利用先はアイティメディアが内容に応じて、最適な配信先を選択します（指定出来ません）
・誘導原稿はアイティメディアが準備いたします（事前の確認・指定はできません）
・誘導広告は保証PV達成次第、掲載を停止いたしますが、最低1週間は掲載を保証いたします。

SCHEDULE

ITmedia ***DX Summit***

お申し込みからの流れ

2022年6月10日(金)

申込締切

締め切りまでに**利用申込書**を担当営業にご提出ください。
用紙及びご提出先は担当営業よりご案内させていただきます。

一般向け
告知準備

イベント告知にも関連する、セッションのご講演者情報、ご講演タイトル、
貴社ロゴデータなど合わせてご提出いただき、
セッション登録用紙を事務局へご提出ください。

7月上旬～

イベント告知
開始

事務局にて、集客のためのイベント告知サイトをオープンいたします。
同時に視聴希望者の事前登録も開始いたします。

開催準備

開催に向けて、**配布資料・視聴者向けセッションアンケート設問・動画納品**の場合のご講演データなどを事務局にご提出ください。
開催2営業日前までにレポートサイト情報もお送りさせていただきます。

2022年8月29日(月)～
9月1日(木)

イベント開催

イベント本番となります。ライブ講演いただく場合は、事務局よりご案内する時間までに弊社スタジオ受付にお越しください。また、開催中はレポートサイトにてリアルタイムにセッション視聴者数などをご確認いただけます。

終了後～

会期終了

会期終了後、**3～5営業日以内に事前申込者のリスト**をご提出させていただきます。
また終了後1～2週間程度、セッションのアーカイブ配信を行います。※予定
開催報告書は集計後、別途営業担当よりご提出させていただきます。

※上記は目安のスケジュールとなります。詳細なスケジュールは開催日が決定後、ご案内いたします。

APPENDIX

ITmedia ***DX Summit***

セッションの視聴画面イメージ

ご講演者情報

貴社名と合わせまして、ご講演者様の氏名、肩書、お写真を掲出させていただきます。

配布資料

貴社セッション視聴者様に向けての配布資料を設置可能です。最大3点まで設置できますので、ご希望の資料を支給ください。

Q&Aフォーム

ご希望の場合は視聴者からの質問を受け付けるQ&Aフォームをご利用いただけます。



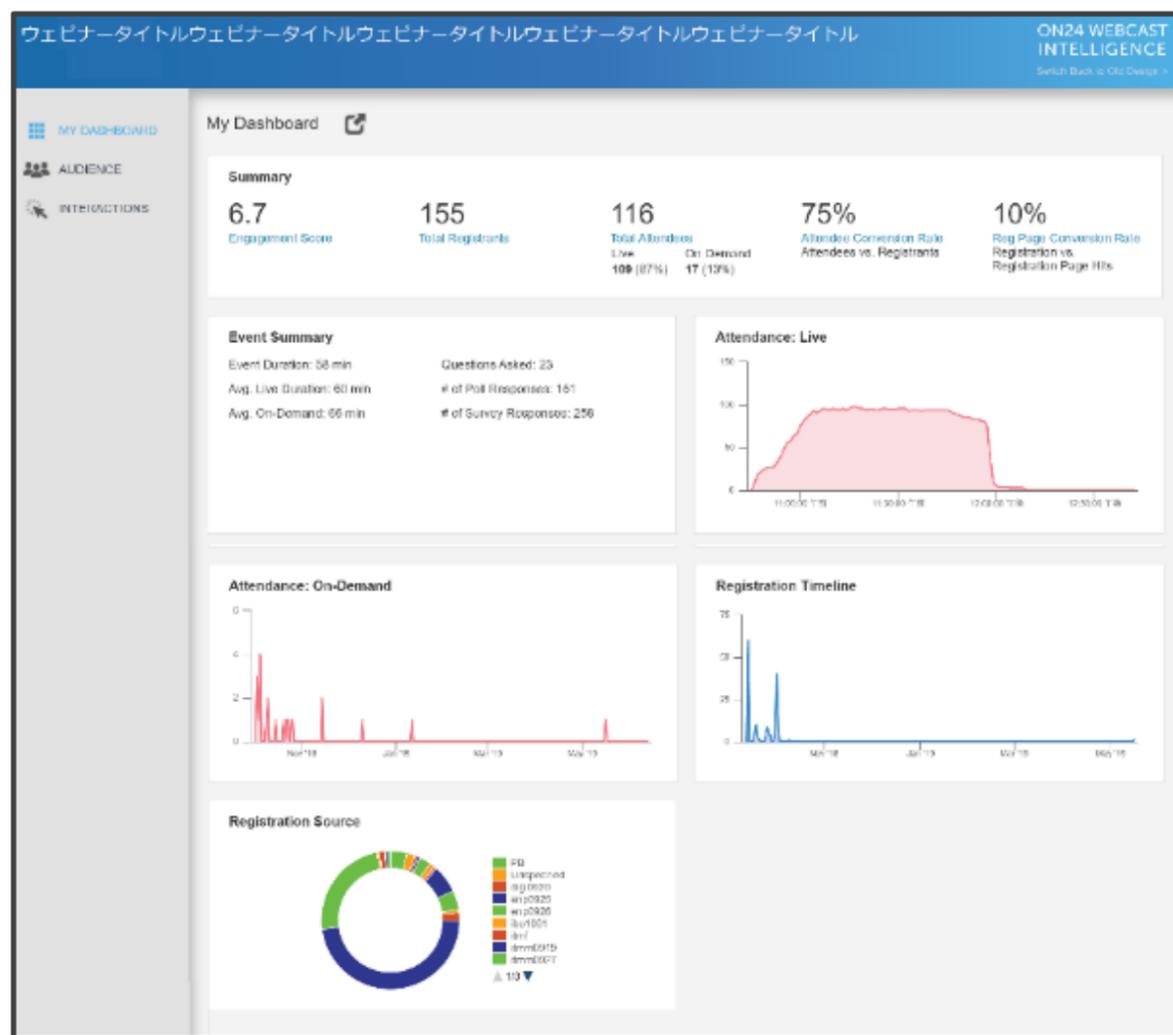
ご講演映像

ご講演の映像を放映します。ライブ配信で投影資料がある場合は、事前に事務局に送付いただければ、ご講演者様と組み合わせた画面構成に調整いたします。

セッションアンケート

貴社セッションの視聴者様に向けてアンケートを行っていただくことも可能です。最大9問まで設定可能ですので、ご希望の場合は設問内容をご連絡ください。

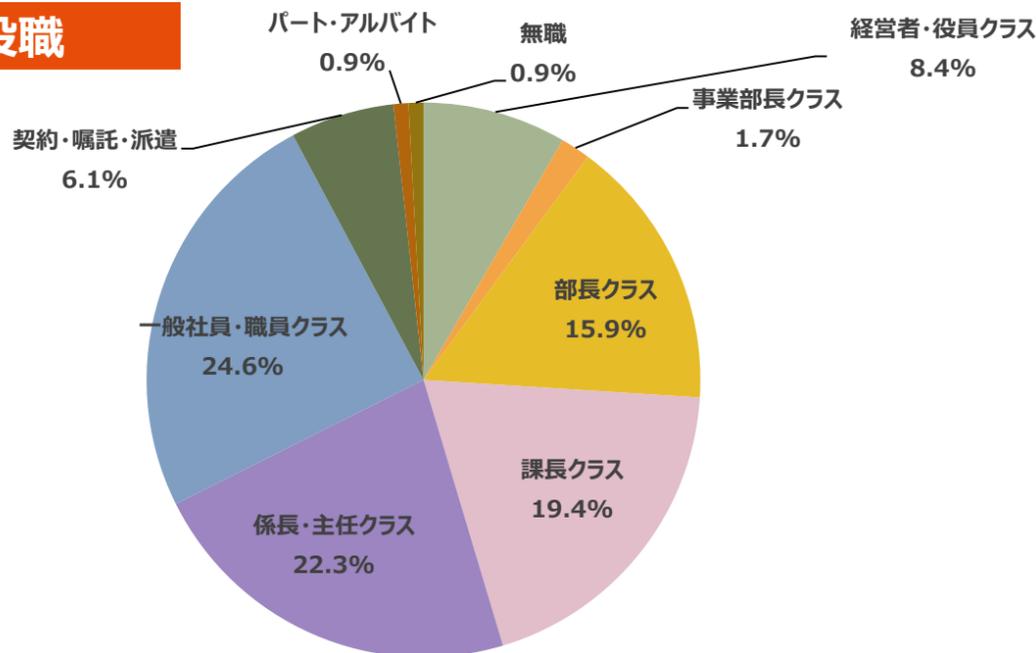
イベントレポートサイトで貴社セッションの視聴者をリアルタイムにチェック可能



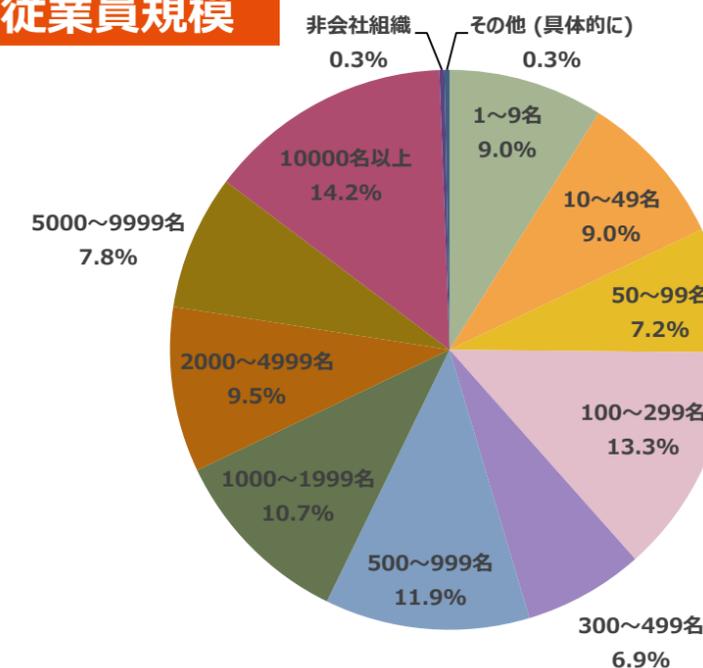
- ### オンラインレポート掲載項目
- ✓ 視聴者情報
 - 登録項目
 - 氏名
 - 役職
 - 所属社名
 - 従業員規模
 - 業種
 - 職種
 - OS
 - ブラウザ
 - ✓ セッションの視聴人数
 - ✓ 視聴人数の推移
 - ✓ 平均視聴時間
 - ✓ Q&A、資料ダウンロードなどの行動履歴



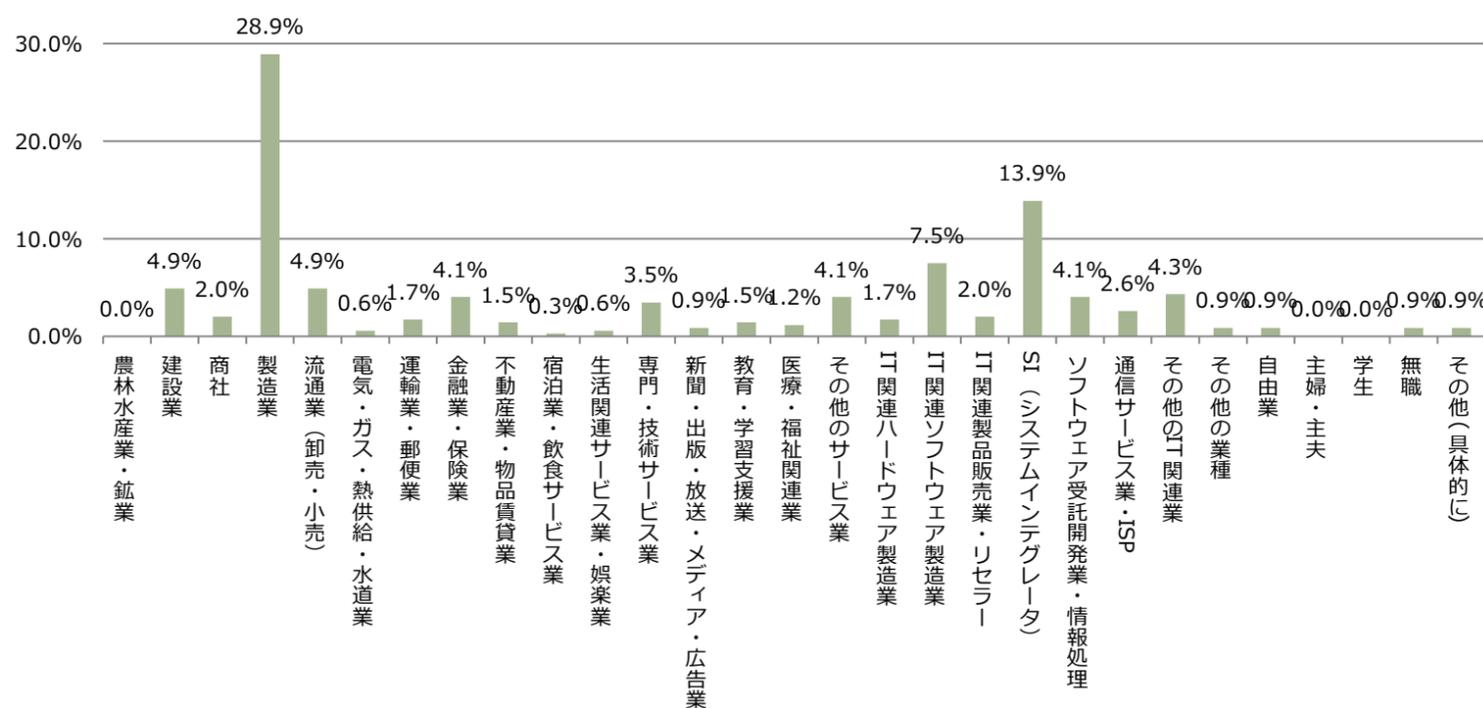
役職



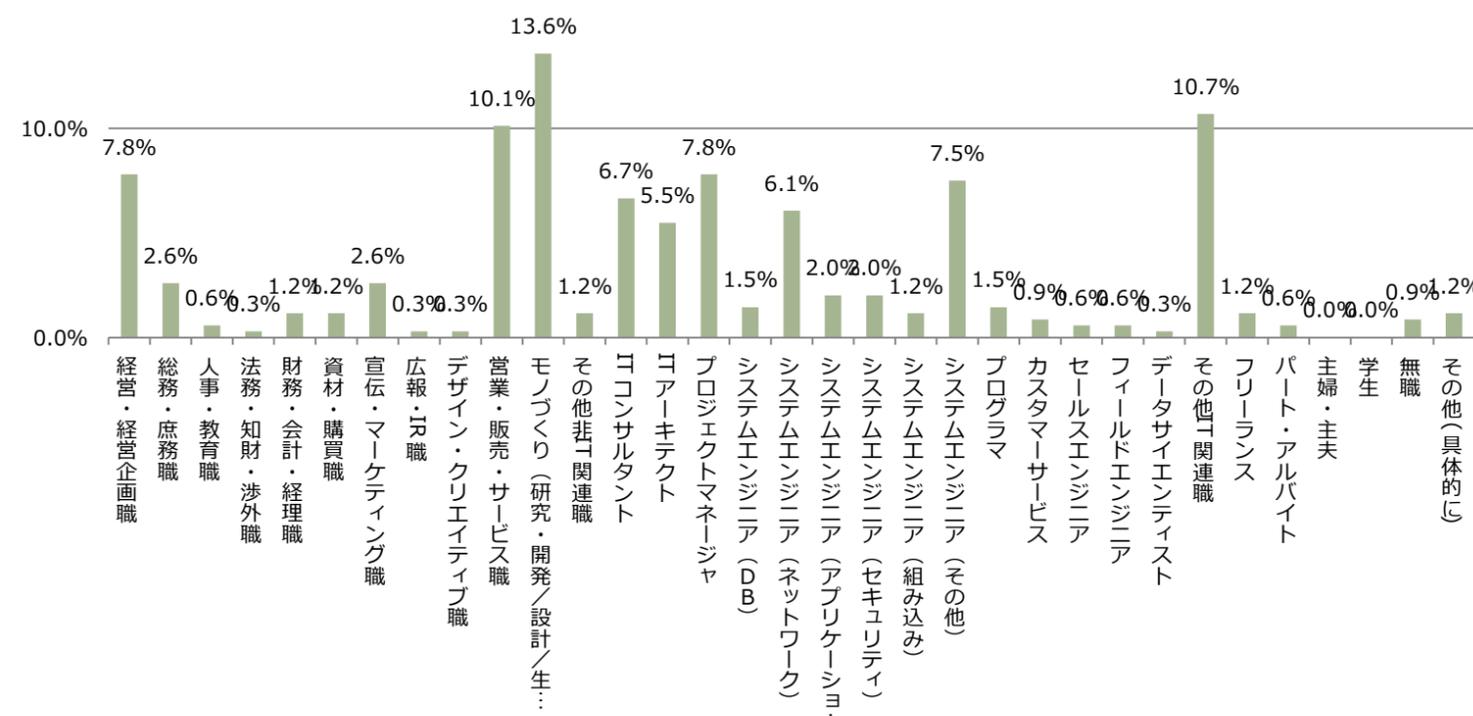
従業員規模



業種

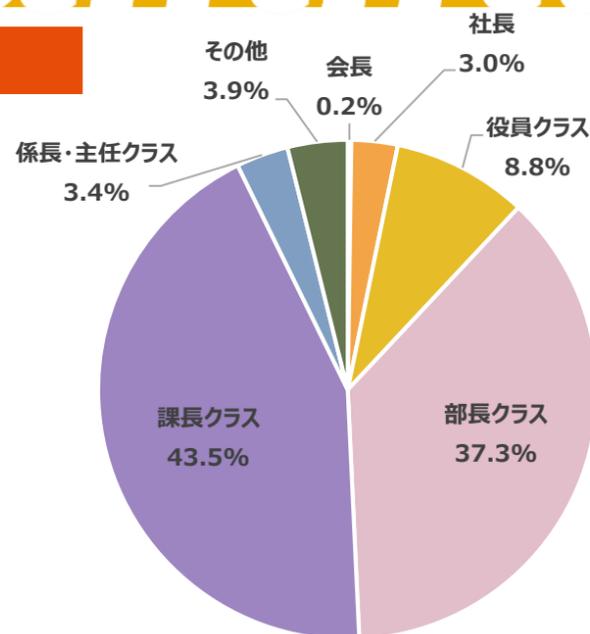


職種

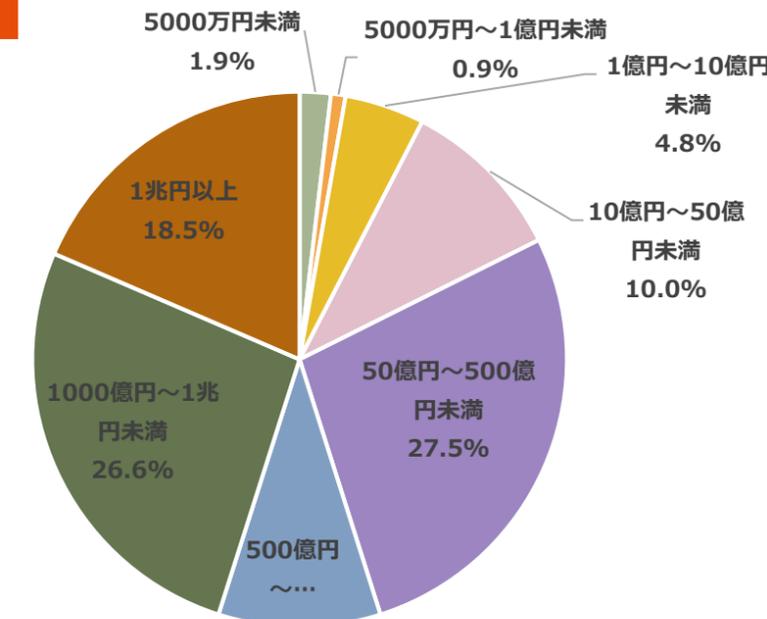




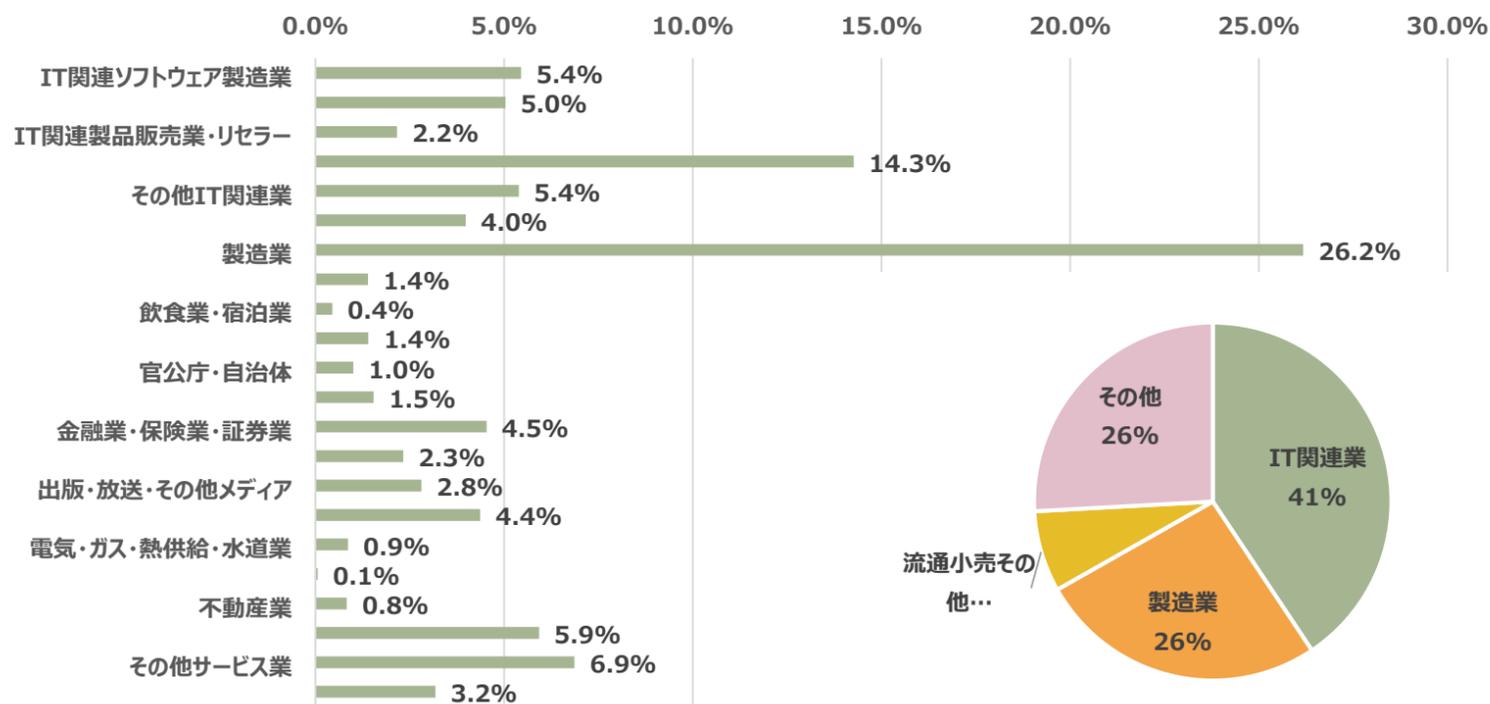
役職



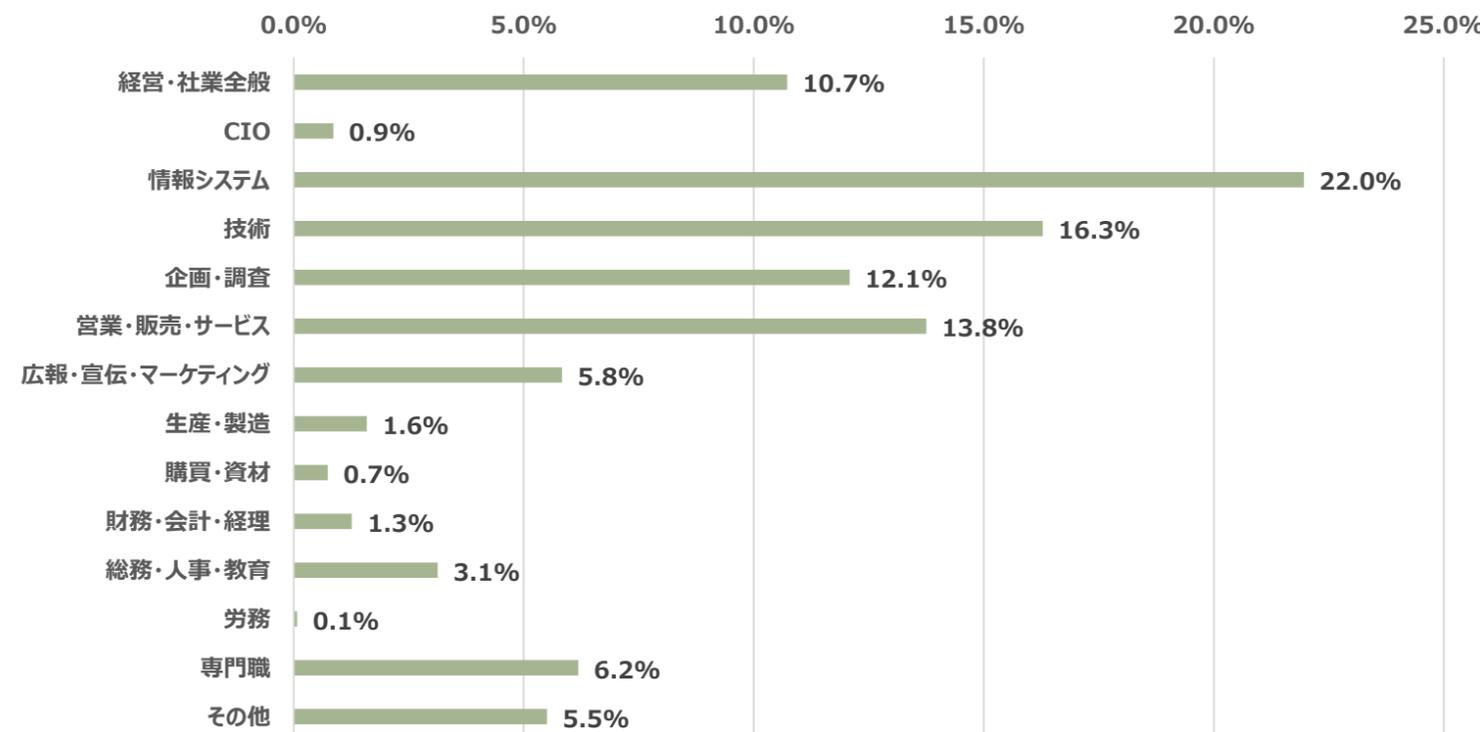
年商規模



業種



職種



ご留意事項

キャンセル料につきまして

申込書受領後または事務局案内開始後のキャンセルは、下記のキャンセル料が発生いたします。予めご了承下さい。

- ・開催日41日前まで : 50%
- ・開催日40日以内 : 100%

消費税につきまして

消費税は別途申し受けます。

配信プラットフォームにつきまして

会場構成、運用システム等を含む配信プラットフォームは、都合により変更する場合がございます。

オンラインでのセミナー配信リスクにつきまして

ライブ配信は常にリスクが伴います。以下にリスクを明示するとともに、当社の対策を記載いたしますので、予めご了承のほどよろしくお願いいたします。

●リスク1：インターネット回線およびインターネットサービスプロバイダーにおける障害

映像・音声ともに落ちてしまう可能性があります。直ちにバックアップPCおよびバックアップ回線での配信に切り替えます。

●リスク2：ライブストリーミングプラットフォーム（ネクプロ）における障害

ネクプロは高精細な映像、音声を届ける仕組みを搭載し、配信中にバッファをためておくことで、ユーザー環境によって映像の途切れや音声途切れる現象を軽減します。障害対策として常にバックアップ配信ができるようにシステムを冗長化していますが、万が一配信プラットフォームが落ちた場合は視聴者にメールにて配信停止のお詫びを送付し、後日オンデマンド版を案内いたします。

●リスク3：電源障害

映像・音声ともに落ちてしまう可能性があります。バックアップPCから配信停止のお詫びをアナウンスし、後日オンデマンド版をご案内いたします。

●リスク4：機材障害

映像・音声ともに落ちてしまう可能性があります。直ちにバックアップPCおよびバックアップ回線での配信に切り替えます。

●リスク5：視聴側における障害

総視聴数に対する単独（10%以下）の視聴不良はそれぞれの環境に起因する可能性が高いので、問い合わせに対して個別対応いたします。10件単位で同様の症状がみられる（現場でご報告いただいた）場合は、配信停止のお詫びをアナウンスし、後日オンデマンド版をご案内いたします。

個人情報の取り扱いについて

弊社メディア主催セミナーにおける参加者等の個人情報または個人情報を含むデータ(以下「本個人データ」という)のお取り扱いに関し、以下の点をご確認下さい。

1. (本個人データについて)

本個人データは情報主体の同意の下で弊社が協賛企業へ提供するものです。弊社は、本個人データの収集に際しては、日本国内の法令、条例、ガイドライン等を遵守していることを保証いたしますが、本個人データの正確性、完全性、有用性については一切保証いたしておりません。

2. (データ授受)

提供する本個人データは、申込書に記載のあるご担当者にのみ納品いたします。

3. (利用目的の制限)

本個人データは当該イベントに関連した貴社製品／サービスに関する参加者等の情報主体への情報提供（以下「本利用目的」という）に限定してご利用下さい。
本利用目的以外で本個人データを利用される場合は、貴社の責任において、個人情報の情報主体に対し新たな利用目的を事前通知し同意を得ることをお願い申し上げます。

4. (問合せ先、個人情報変更／削除方法の明示)

本個人データの利用に際しては、適用される法令、条例、ガイドライン等の遵守をお願いいたします。また、本個人データを元に情報主体へアクセスする際は、必ず「貴社内の連絡先」「本個人データ収集元となったイベント名」および「本個人データの変更、削除、情報提供の停止方法」を明示してください。

5. (管理責任者)

本個人データについては管理の責任者を定めご利用下さい。

6. (安全保管)

本データの漏えい、滅失またはき損の防止その他の安全管理のために必要かつ適切な措置を合理的な範囲で講じてください。

7. (再提供)

本個人データの再提供は原則として行わないで下さい。再提供が必要な場合は事前に弊社及び情報主体の承諾を得た上でご利用下さい。

8. (苦情の解決)

貴社による利用により、情報主体から苦情が寄せられた場合、その解決は貴社側で解決いただきますようお願い申し上げます。
また、弊社に苦情が寄せられた場合、貴社にその解決をお願いする場合がございますので、あらかじめご了承下さい。

9. (損害の賠償)

貴社による利用が情報主体の権利を侵害したという理由で、貴社が情報主体から損害賠償を請求された場合、弊社での責任は負いかねます。あらかじめご了承下さい。

ITmedia
IT"セ"ンター

ITmedia
IT"ア-プライズ"

アイティメディア株式会社 営業本部

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-12 紀尾井町ビル12/13F

MAIL : sales@ml.itmedia.co.jp